

単元	年組番	問
四年下 きょうみをもったところを中心にしてようかいしよう 「ウナギのなぞを追って」	氏名	

四年生 説明的文章の読み方の「大切」

考えを述べた文章では

- 自分の考えを強く印象づけるために、その考えを、文章の始まりの部分か終わりの部分のどちらかで述べたり、両方でくり返しのべたりしている。
- 自分の考えに共感してもらうために、他の段落で、考えのうらづけとなる事がらやそう考える理由などをのべている。

段落どうしの関係をとらえる

- 段落と段落は、たがいに関係している。
- 段落ごとに何が書かれているかをとらえ、それらがどんな関係かを考えると、文章の組み立てが分かりやすくなる。

要約するとは

目的や必要に応じて
話 や 本
文章
の内容を短くまとめること。

要約には、元の文章の
構成 や 表現 を
生かして短くまとめるものと、
自分の言葉に言いかえて短く
まとめるものがある。

元の文章のどの部分
を取り上げるかは、
目的 によって
ちがってくる。



単元	年組番
四年下 きょうみをもったところを中心にしようかいしよう 「ウナギのなぞを追って」	氏名
問	

1 教科書の「ウナギのなぞを追って」を読んで後の問いに答えましょう。

(1) 筆者がマリアナの海にやってくる理由はなんですか。本文から抜き出しましょう。

ウナギが

どんな一生を送る生き物なのか

を調査するため。

(2) ウナギの赤ちゃんであるレプトセファルスについて当てはまる言葉を書き入れましょう。

レプトセファルスは

とうめい

で

やなぎの葉

のような形を

している。それは、海の中で

しずみにくく

、

海流

に乗って

運ばれやすい

からである。

(3) 調査で分かったことには○を、分かっていないことには×を書きましよう。

- ① () ○ () ウナギは、どこでたまごを産むのか。
- ② () ○ () ウナギのあかちゃんは、どんな色や形をしているか。
- ③ () × () ウナギは、なぜこんな遠くまでたまごを産みにやってくるのか。
- ④ () ○ () ウナギは、こよみでいうと、いつごろたまごを産むのか。
- ⑤ () × () 広い海の中で、どうやってオスとメスが出会うことができるのか。
- ⑥ () ○ () ウナギのたまごは、レプトセファルスになって、どの方向へ流されているのか。

くのか。

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単元	年組番	問
四年下 きょうみをもったところを 中心にしようかいしよう 「ウナギのなぞを追って」	氏名	

1 教科書78ページ11行から83ページ8行までを読んで、調査して成果があったことを中心に、「三つの年」とに要約してまとめましょう。

一九六七年
台湾近くの海で、体長五十四ミリメートルの、ウナギのレプセトファルスがとれた。

一九九一年
マリアナ諸島の西、北赤道海流の中で、十ミリメートル前後で生後二か月ほどのレプセトファルスを約千びきとることができた。

二〇〇五年
新月の日に、マリアナ諸島の西にある海山付近で、体長五ミリメートル、生後二か月のウナギのレプセトファルスを見つけたことができた。

2 2 「ウナギのなぞを追って」を読んで、最もきょうみをもった内容を要約し、この話を読みたいくなるようなしようかいする文章を書きましょう。

この話は、ウナギがたまごを産む場所を明らかにするために、
八十年もの年月がかかったという話です。長い長い苦勞の末
にたまごが見つかる場所に感動をおぼえます。
ぜひ、読んでみてください。

